

2023年は激動の年だったんだ、と改めて感じます。芸能や政治の世界でいるんなことが明るみになり、変化がありそうです。このまより良い世界になることを願うばかりです。新型コロナウイルス感染症のマスク着用に関しても、解禁は3月の出来事でした。それまでの3年間は毎日マスクを着けることが当たり前になっていきましたが、着けない生活が続く今では、たまに着けると息苦しささえ感じます。慣れというのは怖いものであり、怖いものでもありません。

先日ある年長の男の子から「ひでせんせい、たなばたのおねがいに10キロやせるってかいてたよね」と言われました。「グググ」と何も言えない私。子どもの記憶力と純粋さのパンチ力にダウンです。保育士になった頃から比べると20キロ近く増えており、たまに会う人からは「賈禄がついたね」と濁した言葉をいただきます。一気に増えたわけではなく、十数年の時を経て徐々に脂肪たちです。慣れって怖いんですね。願っているだけでは減らないことに気付かせてもらったので頑張ります。

そして短冊に書いた願いがもう一つ。「ふたばランドに関わる人みんなが幸せになりますように」叶えない理想であり、叶えられない理由はひとえに私の力不足です。保護者の皆様には様々な面でご理解ご協力いただき、恵まれていると心から感じています。そこには慣れることなく、感謝を持ちながら、これからも一緒に子どもたちの未来のための子育てができればと思います。2024年も職員一同力を合わせて取り組んで参りますので、何卒よろしくお願いたします。

園長 梶原 秀一

今月の予定

牛久市幼児教育指導員の先生方による

「おはなし会」<年中・長児> 1/9 (火) 14:00~ 宮本先生と栗山先生の読み聞かせを毎回楽しみにしています。小さい頃に読み聞かせに親しむことで、大きくなってからの読書量に影響するようです。

カレーライスの日

1/11 (木) 段々とそれぞれの学年で役割が身についてきたようです。活動にしっかり参加するためには、忘れ物、遅刻のないようにしてください。遅れ、忘れはお家の方の共同責任です。

もちつき

1/17 (水) 園庭で薪を燃やしてもち米をふかし、本物の杵と臼を使ってもちつきをします！ぺたんぺたんがんばるぞー！

MzKidsコンサート

1/19 (金) 15:30~ 保護者会費を活用させていただきMzKids (ムズキッズ) 様によるコンサートを鑑賞します。一緒に鑑賞したい保護者の方は18日までに職員にお知らせください。

交通安全教室

1/22 (月) 今回は「チャイルドシートにすわろう」がテーマです。いつ事故を起こすか、巻き込まれるか分かりません。命を守るための方法をご家庭でもお子さんと考えていけると良いですね。

二園交流会<年長児>

1/23 (火) つつじが丘ふたばランド保育園の年長さんと一緒に、本園のホールや園庭で交流会をおこないます。一緒に遊ぶことで年長さん同士の関わりが深まりますように。

リトミック

1/26 (金) リトミックは音への即時反応や集中力などへ刺激があります。毎回、中島先生のご指導で楽しんで動いている子どもたちです。

誕生会

1/30 (火) 10:00~ 1月生まれのお友だちの誕生会ですよ～！ステージに立つ友だちを、自分のことのように喜んで祝う子どもたちの姿は素晴らしいです。

お知らせ・お願い

★早朝・延長、土曜日保育申請書について

次の月の早朝・延長、土曜日保育利用の申請書を毎月20日までに提出していただいております。毎回の提出は大変かと思いますが、ご協力本当にありがとうございます。期限内に提出されているご家庭がある一方、そうでないご家庭もあるという現状が続いています。そこで、大変心苦しいですが、2月、3月分につきましては、いかなる理由であろうと20日以降の提出は受け取らないこととさせていただきます。早朝・延長、土曜日と勤務の都合がごありのことは重々理解しております。予定が不明確な場合は20日までに相談いただければ対応いたします。年度末にこのようにせざるを得ないことを何卒ご理解ください。

★登園、降園の準備中のお子さんを一人にしないでください

最近、朝の身支度や降園の準備中に保護者の方から離れて、お子さんが一人で廊下、滑り台、ホールで遊んでいる姿がよく見られます。園内だからという安心感があるのかもしれませんが、大人の目の届かないところで遊んでいるのは大変危険です。思わぬケガや事故につながる可能性があります。身支度や帰り支度の際はお子さんから目を離さず、一緒に進めてくださいますようお願いいたします。

★今後の予定について

- ランランフェスティバル 2月23日(金・祝)
3月保育参観 3月5日(火)～8日(金)
・クラスの日程は後日お知らせします。
たびだちの日(卒園式) 3月23日(土)
・年長児親子のみ参加
・この日土曜日保育はありません。
※各予定の時間等、詳しいことは今後手紙を配布いたします。

「私の愉快な仲間たち」
昨年はお戦争、環境破壊、少子化と、暗い話ばかりだったので、新年は楽しい愉快なお話をしたい。
①私は、午前中は、来客を断って、できる限り、子ども達と遊ぶことにしている。年少さん達と走り回って遊んでいるところに、来客があった。仕方なく、子ども達に「お客さんだから、タイム」と言って、部屋に入った。来客と話をしていると、窓から数人が顔を出し、「園長ゴリラ、おいで」と言った。「もう少し待って」と話を続けた。少し経つと、またやって来て、今度は少し強い口調で。「まだいるの？少して言ったでしょ？」来客は、困ったような顔をしながら、「イヤー参ったな、大変お邪魔虫のようで、そろそろ・・・腰を上げると「オーイ、もう帰るってよ、良かったな」と、来客の退散を喜び合っていた。来客は、「貴重なお時間をありがとうございました。」とスゴスゴ帰っていった。子ども達と私との貴重な時間を邪魔する者は、来客と言えども、子ども達は遠慮会釈もなく追い返してしまふ。
②大人の一年の差は、どうという事もないが、子ども達の一年は、大変大きく重要だ。誕生会の後、4歳になったA君が、胸を張ってやって来た。「僕はもう4歳なんだ」と言うと、横にいたB君が「なんだ、まだ4歳か、僕なんか5歳だ」と誇らしげに言った。すると、4歳のA君は、よほど悔しかったのか、ボクのおとうさんなんか15歳だ！」とお父さんを持ち出し反撃した。A君はおそらく15までしか数えられなく、それが最大だったのだろう。すると、そのやりとりを聞いていた6歳のC君が、「お前ら、バカだな、オレ(年長になるとオレになる)のお兄ちゃんには15歳で中学生だぞ、中学生のお父さんなんかいるわけない。お父さんは、だいたい30歳以上だ」と言った。AもBも神妙になつて、C君を尊敬の眼差しで見上げた。すると、C君が、「園長先生はいくつ？」と、矛先を私に向けた。私は彼等に小石を拾ってくるように伝えた。小石を一つづつ並べながら、数を数え続けた。一つ、二つ三つ四つ・・・これがA君、五つB君、六つC君そして、小石を並べながら数を数え続けた。30を過ぎる頃には、「ここらがお父さん達」と言って、更に続けると、ドンドン子ども達が集まってきて、40を過ぎる頃から「ワー、スゲー」と言い出し大騒ぎ。そして、石が60になり「スゲー、スゲー」は最高潮に。しかし、数の分かるC君は、50を過ぎる頃から黙り込んでしまった。そして「60」で手を止めると、C君は静かに寂しそうに私を見上げて「もうすぐ死んじゃうんだね」とポツリと言った。あれから20年、彼も26歳になっている。どんな男になっているだろう。
私は、まだまだ元気いっぱいいた。
理事長 浅田 清利